

# 台風第18号による被害と対応状況

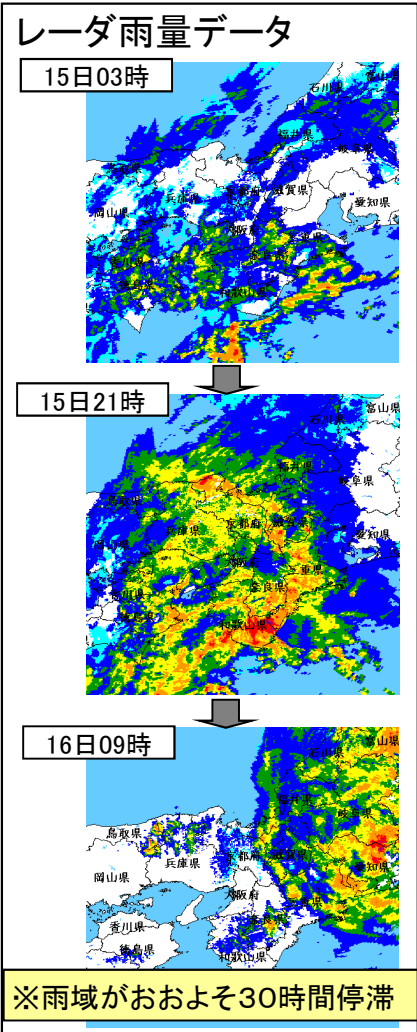
---

近畿地方整備局

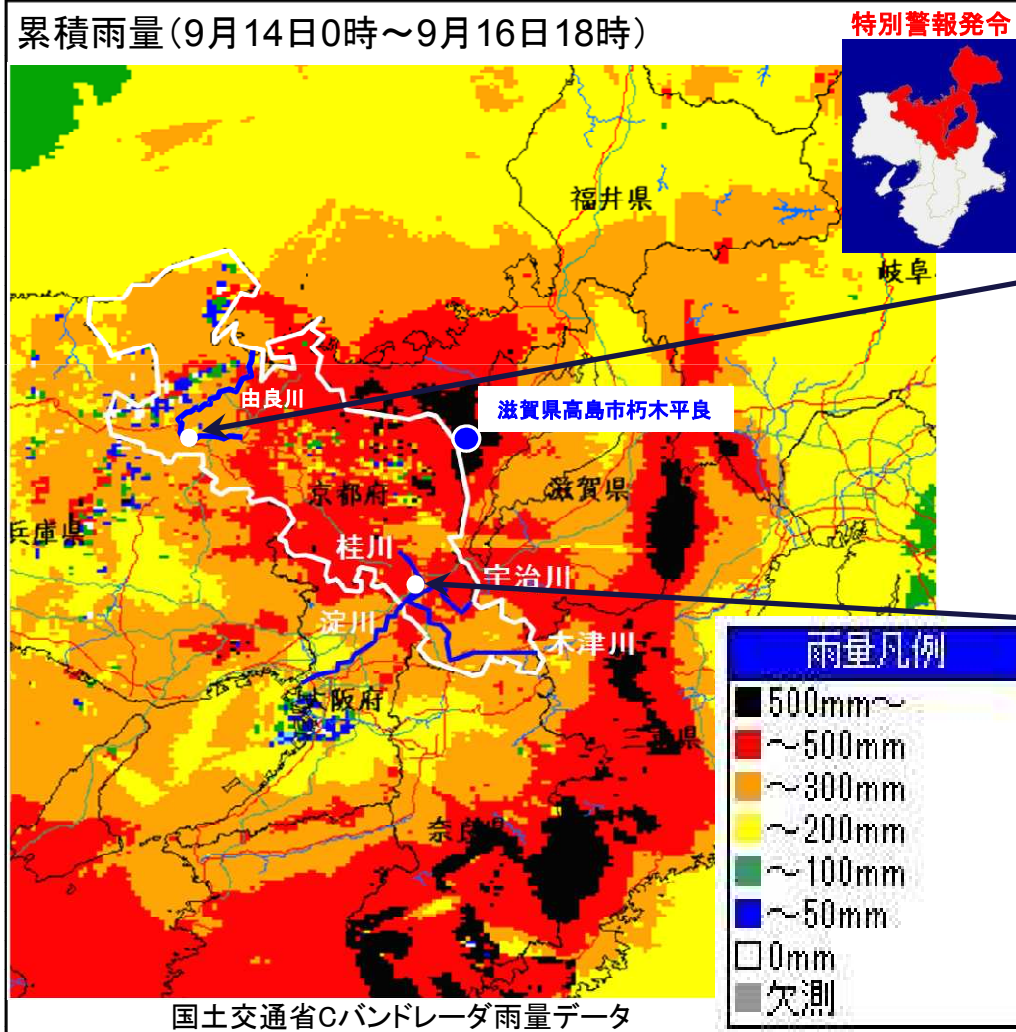
2013年10月

# 台風第18号接近に伴う気象の概要

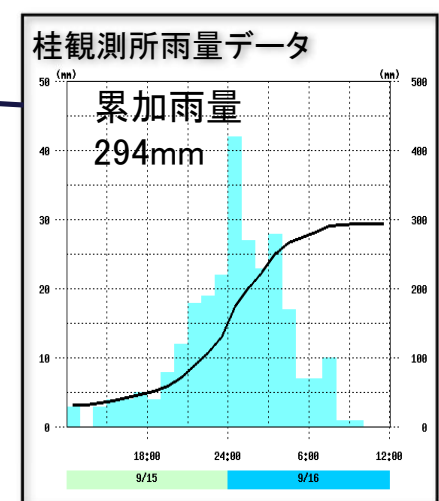
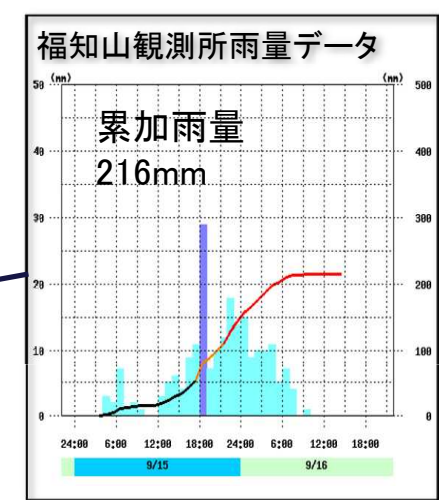
- 近畿地方では、前線や動きの遅い台風18号の影響により、9月15日の夜から雨域が30時間停滞し、激しい雨が降り続いた。
- 大雨特別警報が発令された3府県のアメダス観測42地点のうち、最大24時間降水量で18地点、最大48時間降水量で15地点が観測史上1位を更新(滋賀県高島市朽木平良:総雨量477mm)



国土交通省Cバンドレーダ雨量データ



※本資料の数値等は速報値であるため今後の詳細調査の結果により数値等が変更となることもある。



# 近畿地方整備局管内の直轄河川の被害状況

- 由良川、桂川、宇治川、北川、加古川、大和川、相野谷川では越水等が発生し、約2,000戸の浸水被害が発生し、沿川の住民約43万人に対し避難指示、約76万人に対し避難勧告が発令。



※本資料の数値等は速報値であるため今後の詳細調査の結果により変更となることがある。

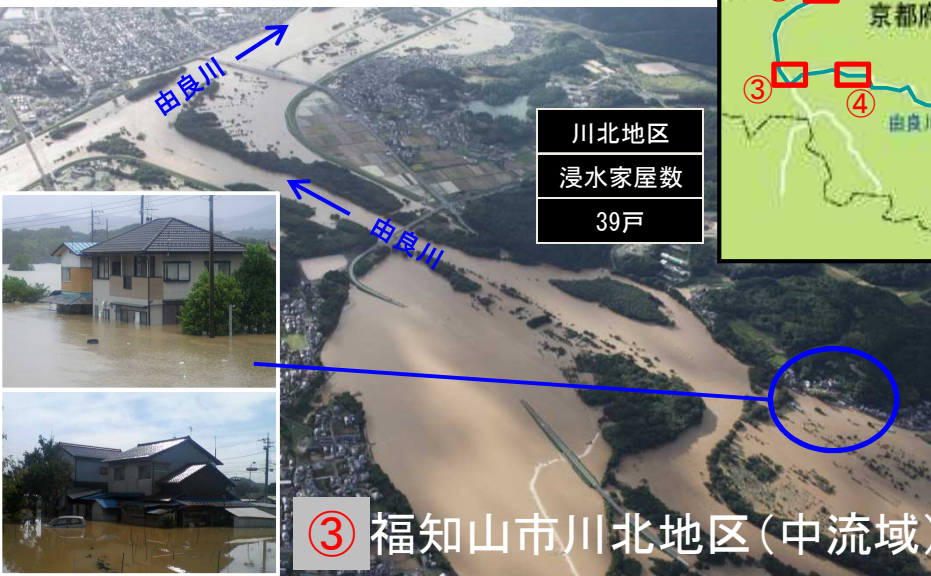
# 由良川の被害状況

- 由良川では、舞鶴市から福知山市にかけての下流域において、平成16年台風23号の洪水位に迫る水位を観測。
- 福知山市街地から綾部市にかけての中流域においては、平成16年を超える水位を観測。
- このため、下流域及び中流域では浸水家屋1,622戸の甚大な被害が発生。

## ① 舞鶴市上東地区(下流域)



## ② 福知山市大江町二箇地区(下流域)



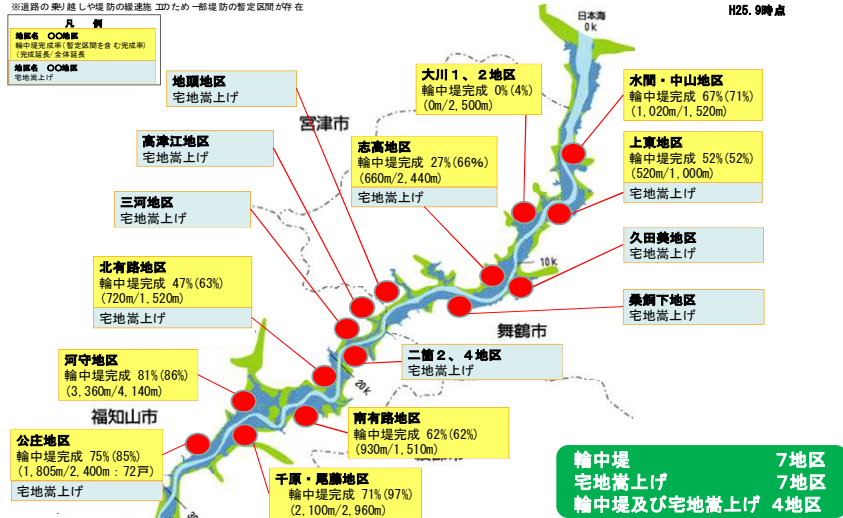
## ③ 福知山市川北地区(中流域)



## ④ 福知山市戸田地区(中流域)

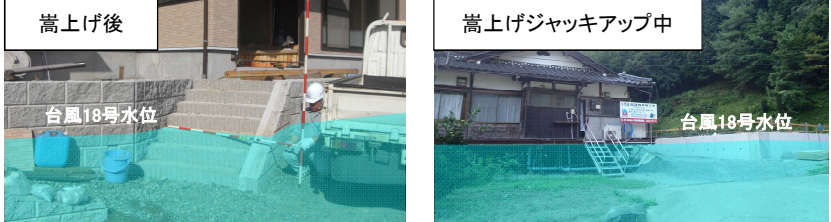
※本資料の数値等は速報値であるため今後の詳細調査の結果により変更となることがある。

由良川下流部では、平成16年度より平成26年度の完成を目指して、18地区で「**下流部緊急水防災対策**」を実施中。



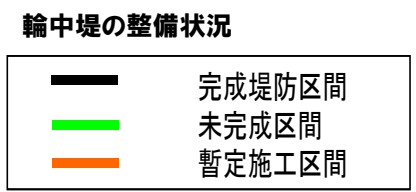
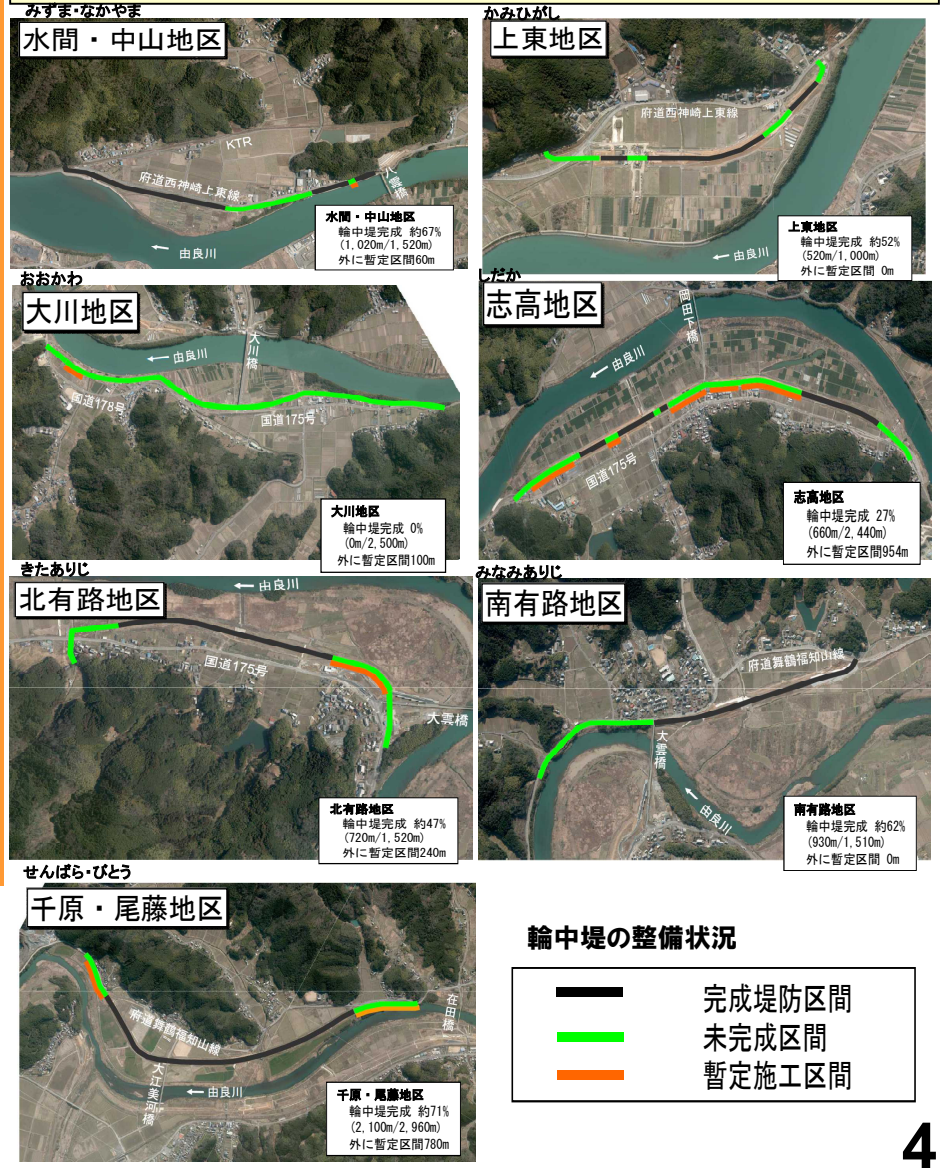
## 【宅地嵩上げ】

宅地嵩上げ地区では、対象家屋と用地補償の調整を行っており、ほとんどの家屋から同意を得ていたところ。一部工事が完成したところでは浸水被害を免れた。



## 【輪中堤】

輪中堤11地区では、堤防総延長に対して約6割が完成(暫定堤防含むと約7割が完成)。平成26年度完成を目標に整備中であった。



# 最大限の洪水調節を行った淀川水系のダム群

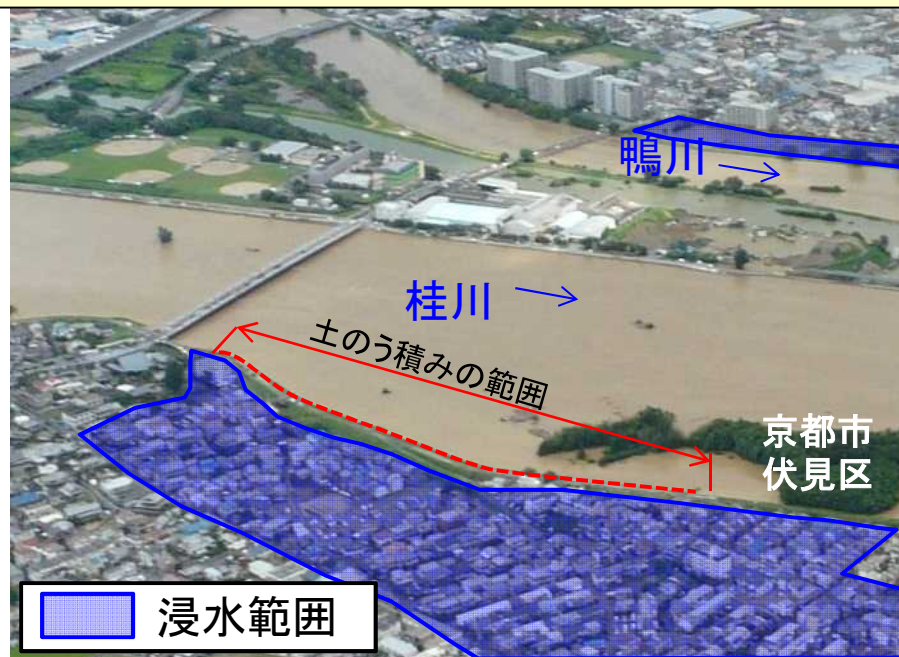
- 桂川、宇治川では**計画高水位を超過**。桂川の久我橋下流右岸では洪水が堤防から越水し始める非常に危機的な状況下であった。
- 桂川の日吉ダム、宇治川为天ヶ瀬ダムとさらに木津川上流にあるダム群のゲート操作、及び琵琶湖からの流出を調整する瀬田川洗堰の41年ぶりの全閉操作など、**淀川水系のダム群では最大限の調整を実施し、京都市街地に甚大な被害をもたらす堤防決壊という最悪の事態を回避**。



# 桂川の被害状況 【久我橋下流の被害状況】

- 桂川では、桂川右岸7.2k(久我橋下流)で9月16日7時過ぎに堤防から越水が始まり、9時30分頃には400mの区間で越水。
- 桂川・小畑川水防事務組合、自衛隊が懸命な水防活動を行うとともに、上流の日吉ダムその他、天ヶ瀬ダム等では、異常洪水時防災操作を行って、桂川の水位を低下。10時20分には越水が止まり、堤防の決壊という最悪の事態を免れることができた。

桂川・小畑川水防事務組合による水防活動  
9月16日9時14分の状況



桂川の高い堤防と民家側の状況(右岸越水部付近)



# 桂川の被害状況 【久我橋下流における日吉ダムの効果】

○仮に日吉ダムが整備されておらず、今回の越流地点で堤防が決壊したと想定すると被害額は約1兆2千億円、浸水面積は約1,000haにおよぶと推定され、最大浸水深は4m以上に達し、人命に関わる甚大な被害が発生したと考えられる。

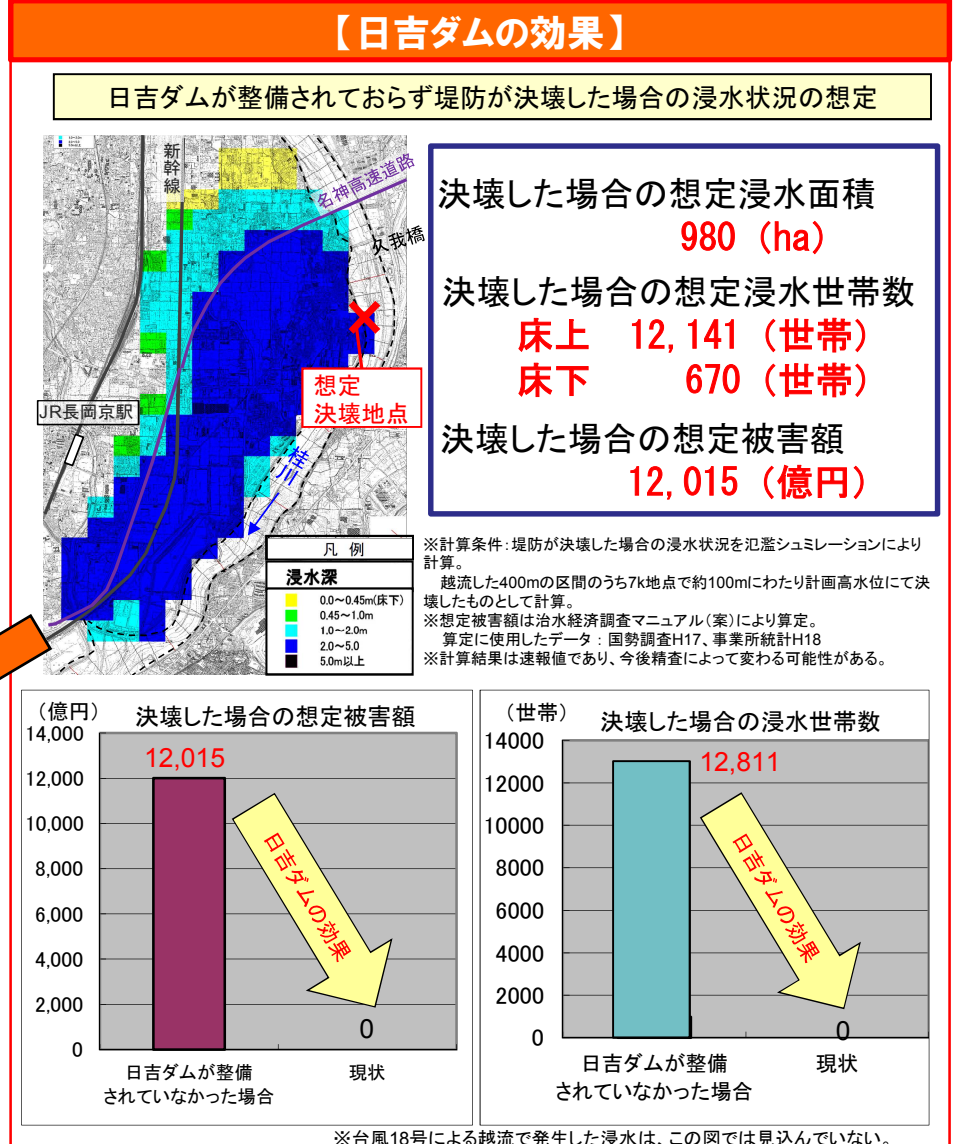


日吉ダムに大量の洪水を貯めました。



自衛隊による水防活動

日吉ダムが整備されておらず堤防が決壊した場合の想定浸水範囲



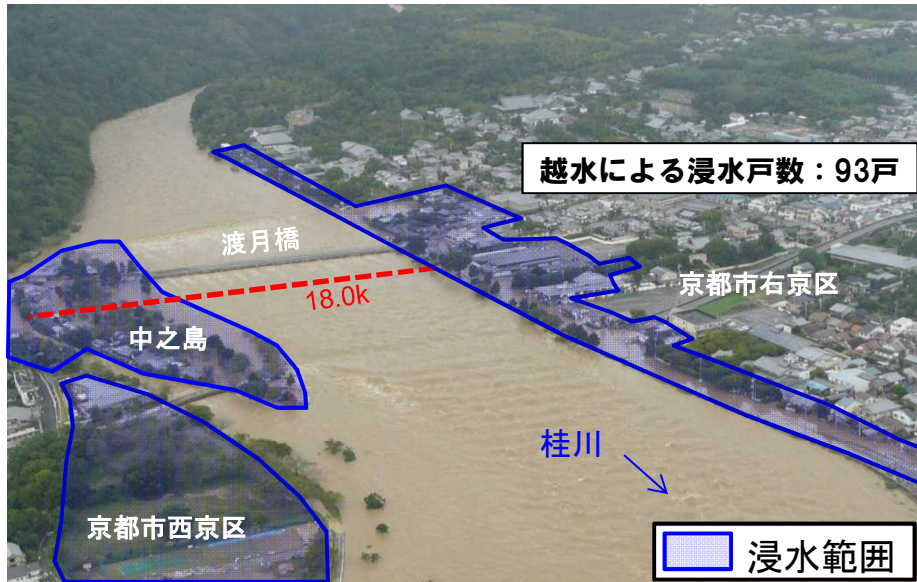
※台風18号による越流で発生した浸水は、この図では見込んでいない。

※本資料の数値等は速報値であるため今後の詳細調査の結果により変更となることがある。



# 桂川の被害状況 【嵐山の被害状況と日吉ダムの効果】

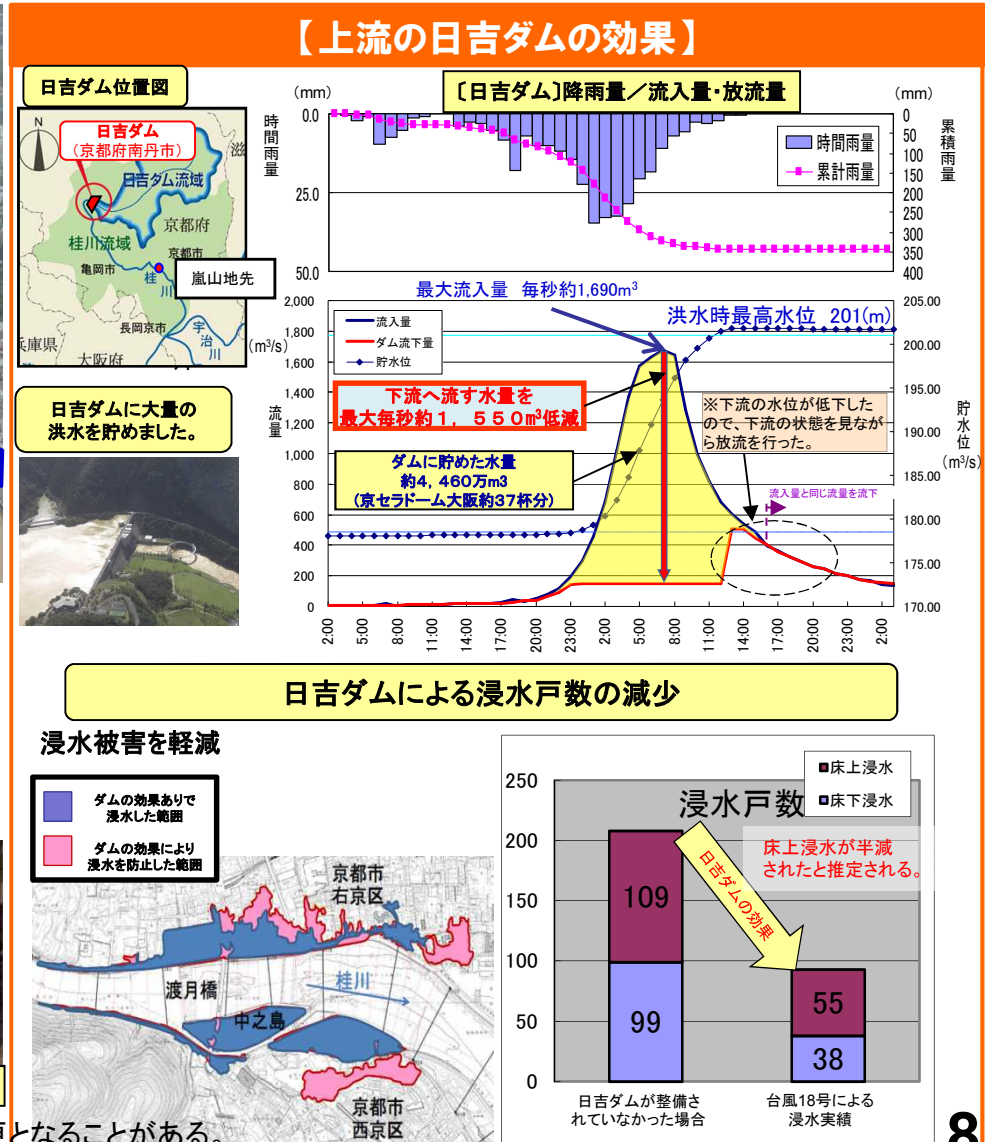
- 日本有数の観光地・嵐山において床上浸水55戸、床下浸水38戸の被害が発生。
- 日吉ダムでは、流域全体の安全を確保する観点から操作を行うことで約4,460万立方メートル(京セラドーム大阪約37杯分)の水をダムに貯留し下流の河川へ流す水量を最大で毎秒1,550立方メートル(約9割)低減。
- 嵐山地区(渡月橋下流付近)では、日吉ダムにより桂川の水位が約0.5m低下しており、日吉ダムがなければ浸水戸数は2倍以上になっていたと推定。



9月16日午前9時31分の渡月橋



周辺の観光施設に甚大な被害



※本資料の数値等は速報値であるため今後の詳細調査の結果により変更となる可能性がある。

# 府県管理河川の主な被害状況

● 府県管理河川においても、福井県、滋賀県、京都府において堤防決壊等により、約4,000戸の浸水被害が発生。

## 京都府

ほんめ  
淀川水系本梅川 堤防決壊



淀川水系園部川 越水状況



(浸水戸数 445戸)



## 福井県

のぎ  
北川水系野木川 堤防決壊



(浸水戸数 3戸)

## 滋賀県

こんげ  
淀川水系金勝川 堤防決壊



(浸水戸数 9戸)

かも  
淀川水系鴨川 堤防決壊

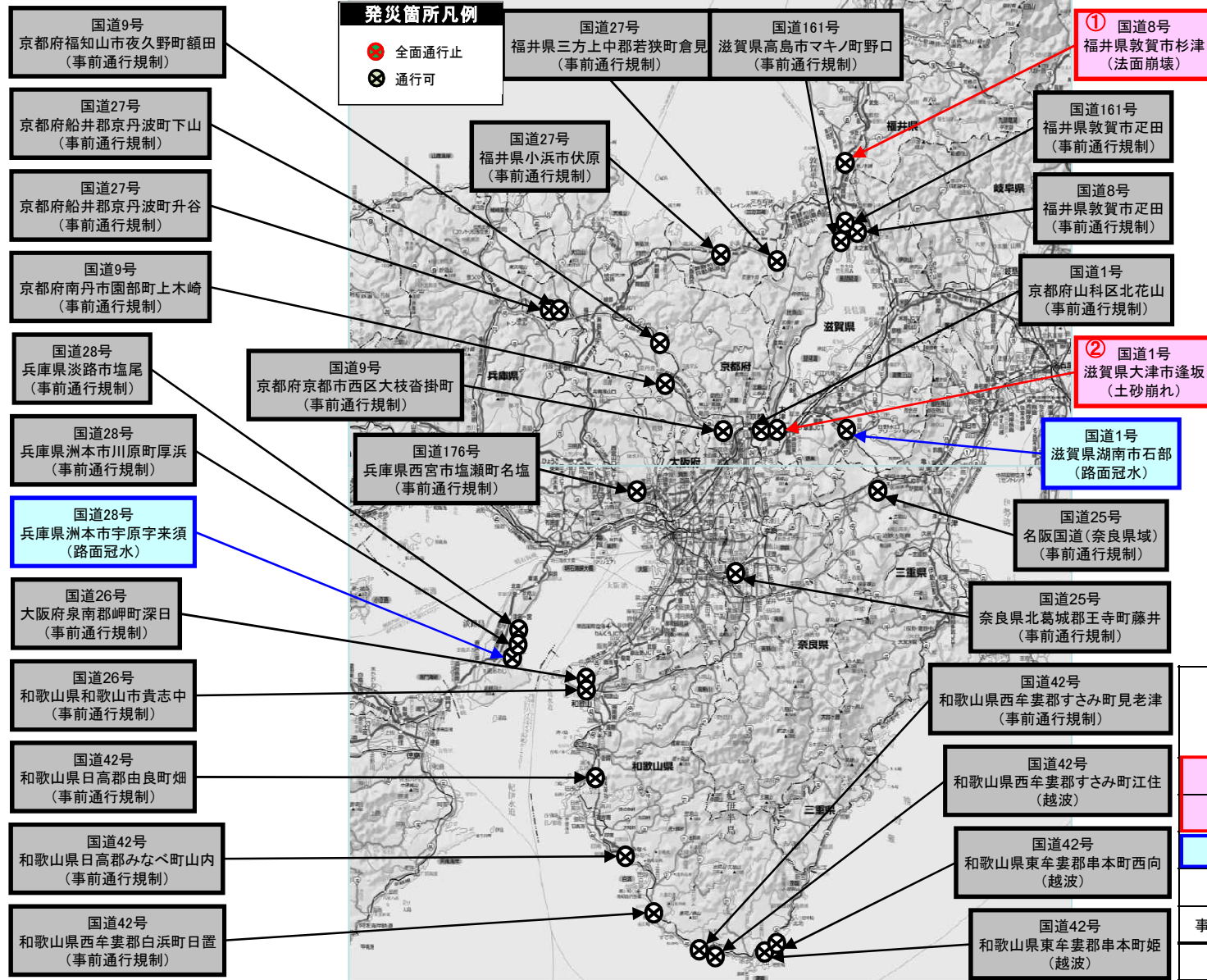


(浸水戸数 176戸)

※本資料の数値等は速報値であるため今後の詳細調査の結果により変更となることがある。

# 直轄国道における通行規制の状況

●近畿地方の直轄国道においては、近畿2府5県で29箇所の通行止めが発生。うち2箇所が被災。  
 ●応急復旧を迅速に行い、9月17日までに通行止めを解消、9月20日までに全面通行開放を実施。



9/17 6:00  
**通行止解除**  
 (片側交互通行開始)  
 9/20 8:30  
**全面通行開放**



9/16 22:32  
**通行止解除**  
 (片側交互通行開始)  
 9/17 15:30  
**全面通行開放**

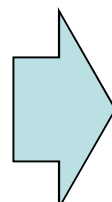
規制原因	箇所数	
		うち解除済
土砂崩れ	1	1
法面崩壊	1	1
路面冠水	2	2
越波	3	3
事前通行規制	22	22
計	29	29

●直轄国道の被災箇所(2箇所)については、応急復旧を迅速に行い、9月17日までに通行止めを解消、9月20日までに全面通行開放を実施

●国道8号 福井県敦賀市杉津



被災状況(9月16日 8:00撮影)



9/17 6:00  
通行止解除  
片側交互通行開始

9/20 8:30  
全面通行規制解除



通行規制解除状況(9月20日 8:45撮影)

●国道1号 滋賀県大津市逢坂



被災状況(9月16日 5:00撮影)



9/16 22:32  
通行止解除  
片側交互通行開始

9/17 15:30  
全面通行規制解除



通行規制解除状況(9月17日 16:00撮影)

- 府県・政令市管理道路では287箇所が被災
- 孤立集落が発生している常神三方線<sup>つねがみみかた</sup>（福井県）、落橋した国道162号<sup>なるたき</sup>鳴滝橋（京都市）など、63箇所が規制中（10月7日 9時現在）

	箇所数	うち解除済数	残規制数
福井県	28	27	1
滋賀県	52	38	14
京都府	61	47	14
大阪府	9	8	1
兵庫県	38	36	2
奈良県	35	27	8
和歌山県	27	24	3
京都市	33	19	14
神戸市	4	2	2
合計	287	224	63

10月7日 9時00分現在

常神三方線  
みかたかみなか わかさちようゆうし  
(福井県三方上中郡若狭町遊子)  
法面崩落



※手前は福井県にて築造中の仮橋

一般国道162号  
けいほくしもゆげ  
(京都市右京区京北下弓削町)  
鳴滝橋 落橋



### 《近畿地整の取り組み》

- ・県からの要請に基づき、照明車 1台、Ku-SAT 2基を貸与
  - ・補修方法について、TEC-FORCEにより助言を行う予定
- 北陸地方整備局の敦賀港湾事務所は、30日から孤立した集落の住民らの海上移送に港湾業務艇「まつかぜ」の運航を開始。

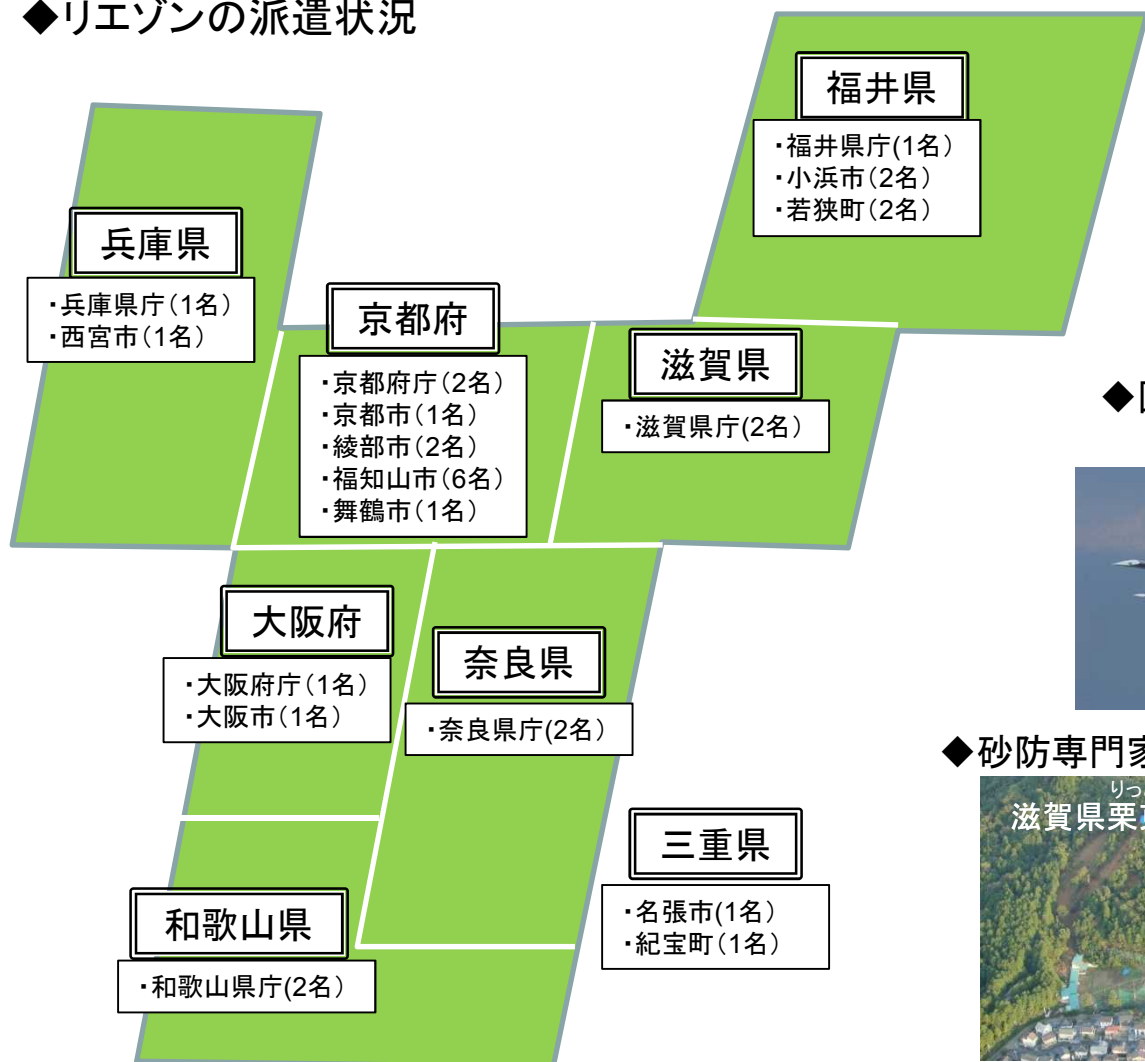
※孤立集落: 133世帯 490人  
ただし、人が歩ける迂回路・航路・ライフラインは確保されている

- ・早期の交通確保のため、京都市の要請を受け、国土交通省が保有する仮設橋の適用について、TEC-FORCEにより現地調査を行った。

# リエゾン、TEC-FORCE等の対応状況

- 台風による災害に備え、台風通過前の9月15日から三重県を含む近畿管内の17自治体に29名(延べ73名)リエゾン  
を派遣し、情報収集や災害応急対応等に対する助言を実施。
- 台風が通過した直後より、ヘリによる調査、国土地理院による空中写真撮影、先遣班による被害情報の収集を行う  
とともにTEC-FORCE隊員を被災地に派遣するなど支援活動を実施。
- また、大規模被災箇所には専門家チームの派遣により、現地での技術的指導、助言を実施。

## ◆リエゾンの派遣状況



## ◆ヘリによる調査(被害箇所全域)



## ◆国土地理院による空中写真撮影(福井県、滋賀県、京都府)

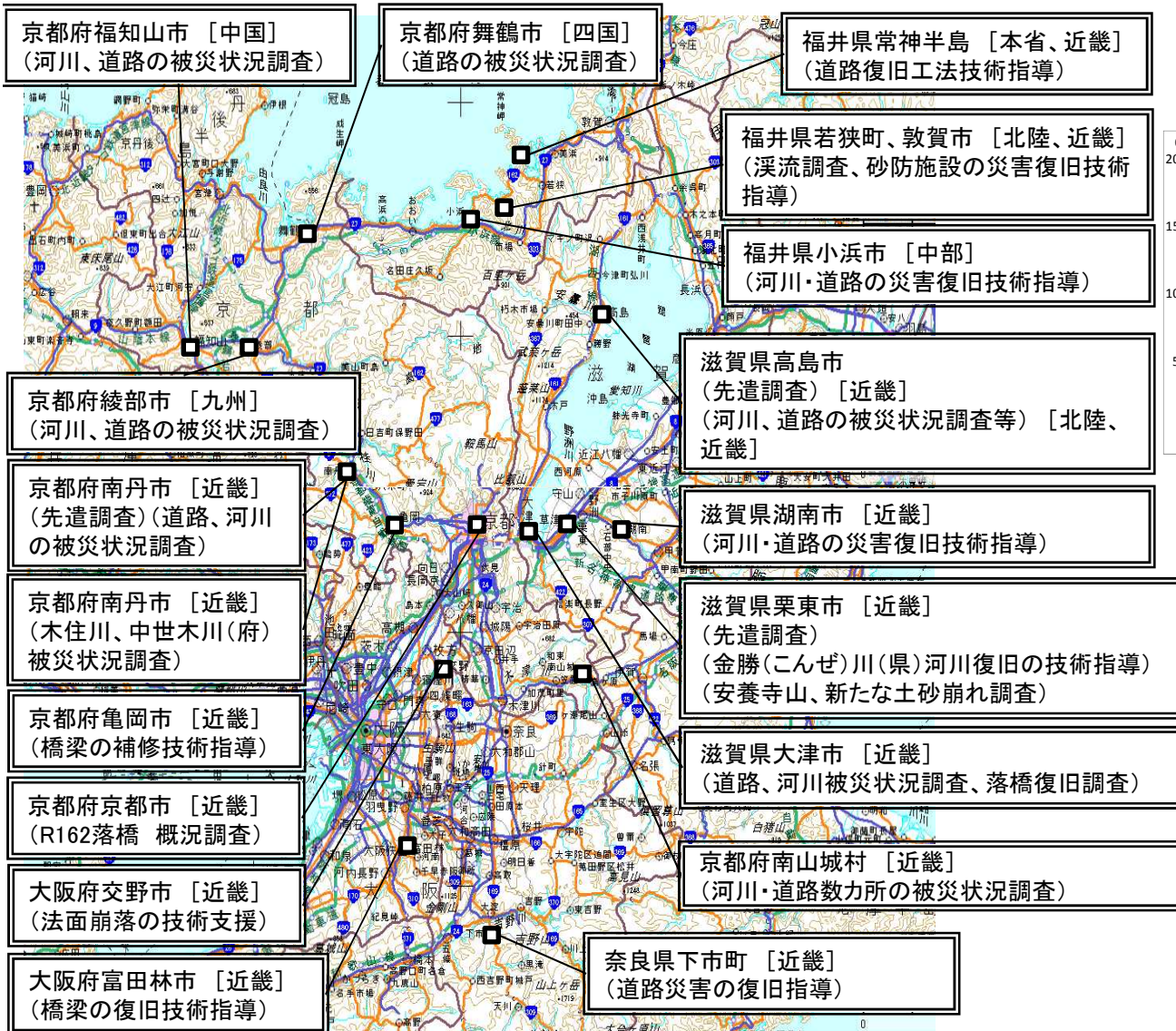


## ◆砂防専門家チームによる技術支援



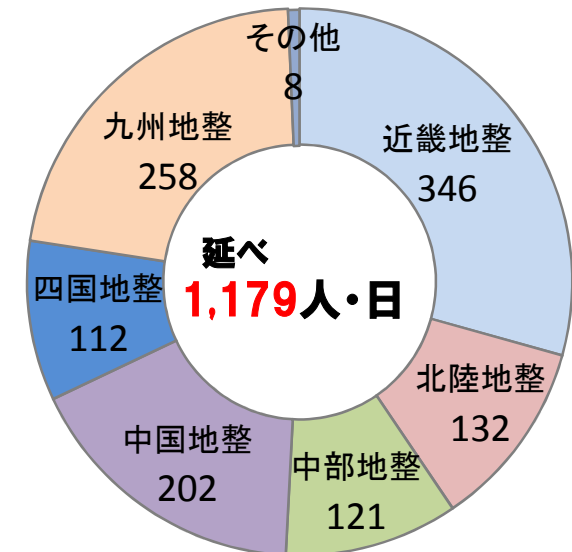
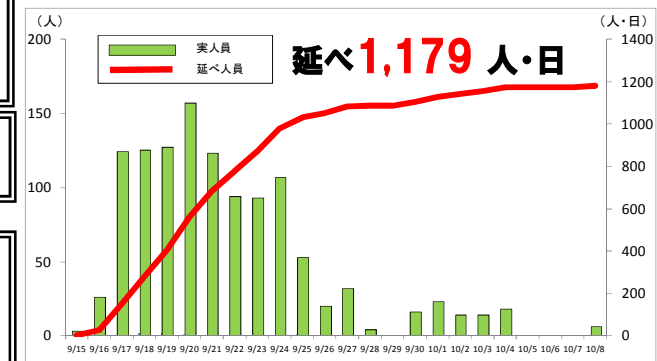
# 各地方整備局からのTEC-FORCEの派遣状況

●全国の地方整備局(北陸・中部・中国・四国・九州・近畿)が、9月16日から延べ1,179人・日のTEC-FORCE等を被災した自治体に派遣し、早期の復旧・復興に向けて被災状況調査、復旧工法の技術指導等の支援活動を実施。



## 【TEC-FORCE活動人員】

(9/16~10/8)



10月8日現在



調査活動



決壊した河川堤防復旧方法の技術指導

NHKのニュースで放映 平成25年9月18日(水)12時頃  
～京都府福知山市域で活動中のTEC-FORCE～



<ナレーター>

台風18号の大雨で大規模な被害を受けた京都府福知山市に国土交通省の緊急災害対策派遣隊が訪れ、詳しい被害状況の調査を始めました。



国土交通省の緊急災害対策派遣隊＝「TEC-FORCE」は大規模な災害が起きたとき、現地に赴いて被害状況を把握し復旧に向けた助言を行います。

18日は第一陣として中国地整の専門の技術者など23人が福知山市を訪れ、道路の被害を担当する班と河川の班に分かれて調査を始めました。



このうち道路を調査する班は、浸水の被害が出た前田地区で、今も通行止めになっている市道の被災状況を調査しました。



<中国地整の畑中隊長>

「被害が出た時は道路が川底のようになっていたとみられる。状況を一刻も早く把握し、復旧を進めるよう使命感を持って取り組んでいる。」



福知山市役所に到着した中国地方整備局のテックフォース（左手前は伊東副市長）

4整備局の  
テックフォース現地入り

台風18号による豪雨災害の被災状況を調査するため、中部、中国、四国、九州の各地方整備局から派遣された緊急災害対策派遣隊（テックフォース）約80人が17日、相次いで現地入りした。京都府北部を流れる由良川が氾濫した福知山市には午後4時前、中国地方整備局からは伊東副市長、中国地方整備局からは伊東副市長は「できるだけ早く調査を進められるよう協力したい」と話すと、テックフォースに同行した近畿地方整備局の田中貢道路部地域道路調整官は「まだ確認されていない被災箇所があるかも知れない。市全体の被災状況を確認し、復旧方法を提示したい」と述べた。

中国整備局のテックフォースは、河川担当2班と道路担当3班の計5班20人で構成。24日までの予定で、市が管理する河川や道路などの被災状況を調べる。

このほか、福井県小浜市には中部整備局から20人、京都府舞鶴市に四国整備局から19人、綾部市には九州整備局から18人のテックフォースが派遣されている。



報告書の提出（綾部市）



報告書の提出（小浜市）

9月19日 日刊建設工業新聞



## 【北陸地方整備局】



道路法面崩落箇所の調査(高島市今津地区)

## 【中部地方整備局】



地元住民から聞き取り調査(小浜市)

## 【中国地方整備局】



調査概要説明(福知山市)

## 【四国地方整備局】



道路の被災状況調査(舞鶴市白滝地区)

## 【九州地方整備局】



河川被災箇所の調査(綾部市東八田地区)

## 【近畿地方整備局】



河川被災箇所の調査(南丹市中世木地区)

●二次被害防止のため、被災現場に延べ185台・日の災害用対策機械等を派遣。

